



中泉秋田県消防協会 会長 さつ あい



第59回 秋田県消防大会

平成十八年七月十四日、大館市民文化会館で行われた第五十九回秋田県消防大会は盛会に終えることができました。

市長、引き続き来賓である品田秋田県出納長、県議会を代表して武田総務企画委員長、鈴木参議院議員のあいさつをいただきました。

第五十九回秋田県消防大会 盛会裡に終える

- 平成十八年度消防功労者の五事業所知事表彰を受ける
●第二回消防団員意見発表会では九支部代表者による意見発表
●講演「我が国の防災体制と消防団」

財団法人 日本消防協会常務理事 山口 勝己 氏



題字 初代会長 松野盛吉
定価 1部 5円 (購読料は年会費を含む)
発行人 〒010-0951 秋田市山王四丁目1番2号 秋田地方総合庁舎内 秋田県消防協会 会長 中泉 松之助 電話 018-832-3791 FAX 018-834-2706

印刷 〒010-0951 秋田市山王7丁目5-29 株式会社 松原印刷社 電話 018-862-8760

平成十八年度全国統一防火標語 『消さないで あなたの心の 注意の火』



講師 山口 勝己 氏 消防協会常務理事

団分団長菅原忠芳さんによる「前へ進め！第五分団」では、訓練はきびしいが社会に貢献出来る喜びがあり、人間の成長があることを若者に伝えてほしい。

より九十分にわたり講話していただきました。
齊藤大館北秋田支部長が「複雑多様化・大規模する火災をはじめとした災害から生命と財産を守ることを、国家的緊急事態にあつては迅速・安全に住民を避難誘導することが、今、消防人に課せられた使命である」と大会宣言された。

平成十八年度消防功労者 (優良事業所) 表彰受章者



平成18年度消防功労者 (優良事業所) 表彰

- 男鹿市 協進興業株式会社 代表取締役 佐藤 和春
秋田市 株式会社 伊藤 和宏
羽後町 うご農業協同組合 代表取締役 伊藤 和宏
東成瀬村 株式会社 鈴木建設工業 代表取締役 鈴木 正蔵
湯沢市 秋田県発酵工業株式会社 代表取締役 飯寺 信治

### 第三十五回 消防救助技術 秋田県大会

平成十八年六月二十九日、十時十分由利本荘市の秋田県消防学校の訓練施設前で開会式を、十一時に救助技術大会が開始された。

会場周辺には雨と暑さ対策のテントが張り巡られ、十三消防本部の参加人員二百七十一名が緊張し、待機していた。大会が盛り上がり、父と子、母と子、防災センターを見学し体験された秋田市の築山小学校四年生九十名、中通小学校四年生五十名、ウェルビューいずみ幼稚園三十六名と父母十五名は始めて見る消防救助技術大会、子ども達は、カッコー!!と声をあげながら緊張して見守っていた。

ロープブリッジでの水平渡りやモンキー渡りでは一本のロープの上を滑るように進み、そして半転して両手と足を使い元に戻る水平バランスや体力、はしご登はんでは、垂直に組み込まれたはしごを安全に速く登るが安全確保ロープが無ければ危険なことやマンホールや穴から救助する引揚救助では素早い動作と引き揚げの緊張感、ほふく救出では酸欠で倒れた人を救助に向かうパトナーとの意気投合、ロープブリッジ救出では、隣のビル等から救出するため、三人コンビでロープをモンキー渡りで隣ビルに向い救助者をロープに下げ一人がロープを引き戻して救出、その後連続救助者二人の帰還の速さ、ロープ応用登はんでは一本のロープを二十メートル先のタッチライオンまで登る両腕の力に、消防士の日頃の訓練と技術の高さに関心して見ている。

本年度から、つぎの種目の中から七月二十日福島県で行われる第三十五回東北地区支部消防救助技術指導会に、八月二十四日札幌市で行われる第三十五回全国消防救助技術大会に出場することに、第三十五回消防救助技術秋田県大会選考会議で決まりました。



種目	消防本部名	氏名・チーム名	大会名
基礎練習	能代山本広域 大曲仙北広域	佐藤 崇宏 三浦 寛幸	全国 全国
ほうふく救出	大曲仙北広域	高橋(篤)チーム	全国
ロープ応用登はん	大曲仙北広域	鈴木チーム	全国
ロープブリッジ救出	大曲仙北広域 大曲仙北広域 鹿角広域	三浦チーム 佐藤チーム 川上チーム	東北 東北 東北
引揚救助	秋田市 鹿角広域 男鹿地区	伊藤チーム 佐藤チーム 高野チーム	東北 東北 東北
傷害突破(実施外種目)	横手市	近チーム	東北



# 平成十八年度 秋田市消防団操法大会

## 秋田市御所野に新設された 秋田市消防訓練場の オープニングセレモニー

平成十八年七月二十三日、秋田市消防団操法大会が開催された。例年は秋田市中央卸売市場駐車場で行われていたが、平成の合併後の中心地に会場を移すことになり、秋田市御所野に会場を新たに設けて行われることとなった。この年の豪雪により中止されていた出初式での分列行進を佐竹市長、中泉団長、藤枝消防長が観閲するなかな行なわれた。さらに新設された秋田市消防訓練場のオープニングセレモニーでは、団員、消防本部の関係者、来賓の見守るなか、テープカットを行い放水により青空に吊されたくす玉が割られお祝いされた。続いて訓練大会が行われた。



競技種目は、ポンプ車操法は十隊五十名、小型ポンプ操法出場分団二十四隊九十六名が競われ、ポンプ車操法の部、第一位、保戸野分団 第一線五十七秒七・一、第二線六十九秒六二、小型ポンプ操法の部、第一位、河辺第一分団四十二秒九八であった。ポンプ車操法の部、小型ポンプ操法の部で優勝された分団は九月五日に行われる県大会に支部代表として出場する資格を得た。

## 平成十八年度 東北地区 消防連絡協議会

平成十八年七月十一日仙台市のホテルメトロポリタン仙台で開催され、本県からは、奥山副会長、中田副会長、村井副会長等が出席しました。

### 8年度 東北地区消防連絡協議会



開催県の宮城県の高橋宮城泉消防協会会長のあいさつと宮城県総務部長、仙台市長から祝辞をいただきました。財団法人日本消防協会理事長秋本敏文氏による「消防団をめぐる新たな動き」の講演に入り、

- 一、片山虎之助参議院幹事長が日本消防協会長に就任されたことにより、七月十八日に、幅広い人脈の発起人によって祝賀パーティが開かれること。
- 二、消防審議会に消防団に関する小委員会が設置されたこと。
- 三、メールの情報交換や役員からの意見を取り入れ、分団の存在と役割に目を向けるため、日消に分団長クラスのチームを創って消防団の位置づけについて検討にはいること。四、六、消防団の認知度向上

上対策や消防団の機能の在り方及び消防団員確保への総力戦として、現在、ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」を放送し、消防団活動にまつわる様々な話題を取り上げていることやふるさとときやらばん公演「地震力ミニナリ火事オヤジ」のミュージカルが全国的にはじまったことを中心に講話されました。

議題一、一月六日を「消防の日」と制定することに付いて福島県消防協会から提案されたことについて、各論では進め方に異論はあったものの総論では多数の賛成意見により要望することになりました。議題二、「女性消防団員の制服交付事業について」と「広報事業費の補助について」については全面的な賛成により、日本消防協会に要望することになりました。また、「消防団員の優遇について」と「広域応援時の活動補助について」も総務省消防庁・日本消防協会に要望することとなりました。

議題三、宮城県消防協会から提案されました「有事の携帯電話の優先については、一部メール等に対応している県もあるが関係機関に要望することになりました。十九年度開催県は岩手県と決まり、佐々木会長は、昭和二十四年から開催県となること八回目という末廣の縁起がいい回、協会の発展のため引き受けますとあいさつされました。



森田ポンプ  
桜ホース・ソフト吸管  
各種消火器

ラビットポンプ  
消防被服一式  
消防機器一式

---

株式会社 協立  
株式会社 能代消防センター

〒016-0846 能代市栄町12の3  
TEL (0185) (52)6361  
(52)6494

トーハツポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
消防被服全般  
秋田県代理店

総合防災設備センター

## 株式会社 高義商会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
ジェットホース  
消防被服全般  
火災報知器各種  
消火器各種

〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32  
TEL(0183) (42)2125  
〒019-0504 十文字町本町 TEL(0182) (42)0032  
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183) (73)2588

# 最近の訓練大会からの愚見



湯沢市消防団長  
湯山 利 八

県内各地の水防訓練大会も殆ど終了し、消防団、水防団と例年の多様な訓練にご苦勞様でした。

小暑大暑と続く、季節に入り本番の訓練大会、消防大会等の行事が盛沢山であります。この一連の消防行事も、平成大合併という大変遷の中で、試行錯誤を重ねながら進行しております。支部の運営についても十九年三月末頃を目処に地域振興局から自治体に移管することも検討中であります。又地域振興局建設部主管で行われている水防訓練大会についても十九年以降は自治体でお願いしたいという要請もありました。いづれ消防団の活動体制が市町村主管の中に一元化することは、地域社会とより密着した円滑な団活動が出来るものとそれなりに評価しております。例年による水防講習、訓練大会も従来の工法訓練で終始して来ましたが基礎的なことを修得することも必要、不可欠なことです。近年の水害の発生状況は集中豪雨による予想もしない所での急激な増水により暴走的に発生している状況であり、又広範囲に亘る場合も多く、各地で多発しております。こうした自然の猛威に防衛出来る人力の限界、非力さをつづく感じております。昨年末からの集中的な降雪でも人力で除排雪が出来るのは狭い小さな範囲であったことを体験済みであります。現在の社会生活を維持継続するにすれば、公的機動力、組織的な支援がなけ

れば不可能であることを証明し厳しい訓練であったと思っております。小さな政府を

目指す政治の流れから、地方交付金が削減される一方、地方自治体の責務が増加するという二律背反的な様相の中、首都一極繁栄、地方拡大衰退という社会構図の急速な変革の中で、郷土を愛し、地域を護る消防団活動についても負担増幅が強いられることも予測されます。いづれ支部を自治体主管に移行する過程で益々地域住民と一体となった活動が求められ、今後、国民保護法が具体的な対応が実施されますと、より中広いものとなると思えます。団自体の活動内容も講習会又訓練大会等の内容も、時代の流れに即したものに改良しなければならぬと思えます。あえて申し上げますと現在、主管の異なる水防訓練大会ですが、訓練内容等そのまま引受るとすれば、引受側でかなりの負担を抱え込むことになりま

す。又、訓練の中味も現実の水害防衛の効果効力の面でも、いかなるものかと感じておるところです。移管については振興局建設部と引受けする自治体と十二分に討議致し理解を深めながら円滑な引継ぎが出来るようお願いします。今日こそ、安心安全が一番求められております。自然環境の変化、除々に忍び寄る大地震の危機等、不安不測の面が底流に渦巻いております。特に自然災害が発生した場合自治体での対処は限界があります。国からの迅速で組織的な規模の大きい支援こそ必須の要件であります。

日頃からの消防団訓練活動等の充実を図ることも、安心安全を具現する方途であると思えます。現在、大きな変遷期に沿いながら進行している地域防災活動の有様から愚見を申し上げる次第です。

平成十八年七月四日

## 皆様へお知らせ

平成十八年六月一日より、秋田市山王四丁目一番二号、秋田地方総合庁舎六階に事務局を移転いたしました。秋田地方総合庁舎のエレベータで六階に降りて、左側にまがり、廊下の前方右側に事務局があります。事務局の前には、財団法人秋田県消防協会 [Akita Prefecture Fire Association] の看板が見えます。気軽にお越し下さい。お待ちしております。

TEL: 〇二八八六七三二〇〇  
FAX: 〇二八八六三一五九一〇  
Eメール: ask@biscuit.ocn.ne.jp

## 消防互助年金

### 『消防の仲間が支える互助年金』

消防互助年金制度は、(財)日本消防協会が消防職員等の安定した老後の生活と福祉の向上のために第一生命保険相互会社と締結している拠出型企業年金制度です



ホームページでも詳しく紹介しています

あなたの老後は大丈夫  
公的年金+消防互助年金で  
生活アップ

加入申込みは消防事務担当へ

問合せ先

- 市町村の消防事務担当係
  - 都道府県消防協会
  - (財)日本消防協会 消防互助年金事業部
  - 生活協同組合全日本消防人共済会
- 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16  
日本消防会館 TEL.(03)3503-1481-5  
http://www.nissho.or.jp/

地域の防災、災害対策に貢献!

**消 防**

ポンプ自動車  
小型ポンプ  
ホース

**設 備**

火災報知器  
スプリンクラー  
消火器

## 猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)  
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

## 株式会社タカギ

秋田県横手市寿町1番28号  
TEL (0182) (32) 3880

### (営業種目)

- |            |         |
|------------|---------|
| 日本機械自動車ポンプ | キンパイホース |
| トーハツポンプ    | シパウラポンプ |
| 各種消防機械器具   | 各種消火器   |
| 消防設備保守点検   |         |

ホームページ <http://www17.ocn.ne.jp/~takagi/>  
E-mail [ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp)